

事務事業評価

平成 23 年度

担当グループ 文化・スポーツ振興グループ

基本事項	事務事業名	陸上競技場他芝オーバーシディング事業				整理番号	0304	
	根拠法令等					実施を義務付ける規定	○あり ●なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第7章 生きる力と創造力を持った人を育てる	▼	予算科目	2 款 7 項 2 目	◎継続 ○新規		
		節 第6節 スポーツの充実	▼	事業区分	施設管理・運営	▼		
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	冬場は枯れてしまう陸上競技場や平成町多目的広場の芝グラウンドに冬芝を植え付け、プロサッカーチームや大学・一般の冬季及び春季のキャンプ誘致や大会を開催できるよう工事を行う。				計画期間	始期 平成 15 年から 終期 平成 年まで	
	事業の対象及び目的 (誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	プロサッカーチームのキャンプ誘致により、ファンや報道等が本市を注目し、多くのメディアに取り上げられることで、本市のPRや交流人口の拡大、また、キャンプ期間中子供たちが直接プロの選手と触れ合う機会(サッカー教室等)をつくることで、青少年健全育成に寄与できることを目的とする。また、大学・社会人・小中高校生の大会を冬場でも開催でき施設の一年を通しての利用が可能となる。						
	目的達成のための手段・方法	近隣の施設と連携をとりながら、大学・社会人やプロサッカーチームのキャンプ・合宿を誘致し、また、冬場でも全国・九州規模の大会が開催できるような環境を整える。						
	成果指標 (意図する状態の達成度を図るものさし)	名 称 等 (内 容)		単位	21 年度	22 年度	23 年度	
		①12月から3月までの利用者数 (島原市営陸上競技場・平成町多目的広場)		目標	名	20,000	20,000	
				実績	名	15,325	19,128	
活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)	②		目標					
			実績					
			達成率	%	76.6	95.6		
活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)	①島原がまだスリーグ プリーグのシーズンオフの時期にキャンプ誘致しレベルの高い試合を観戦できる。		目標			1	1	
			実績			1	1	
	②		目標					
事業費等の推移	年度		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	①直接事業費(千円)		4,177	6,248	6,058	5,374	5,700	6,200
	財源内訳	国 県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源	4,177	6,248	6,058	5,374	5,700	6,200
	②従事職員給与費 b1×b2		144	143	143	143	145	146
	従事職員数(人) b1		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
	職員平均人件費 b2		7,179	7,153	7,162	7,168	7,236	7,277
事業費合計 ① + ②		4,321	6,391	6,201	5,517	5,845	6,346	

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった がまだリーグを開催することでキャンプの宣伝及び試合観戦による交流人口の増加、サッカー教室の開催で青少年の健全育成にも貢献	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 予算と専門的な技術が必要な工事であるため、民間へ委託することは難しい。	A
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込む必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 D=適切ではない 今後、原材料の値上げにより工事額が増額となる。	A
有効性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない プロサッカーチームを誘致しリーグを開催しているが、キャンプ地として大学・社会人・プロのチームに継続的に利用してもらえるようにする	B
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 現在、指定管理者に管理を委託しているが、将来的に指定管理者の方で芝管理ができるような人材を育てることが望ましい。	B
効率性	⑥活動量や成果を下げずにコストを削減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 冬芝舗装がキャンプ地としての要件として挙げられてくるので必要最小限の経費は必要となる。	A
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 ほかに類似する事業はなく統合、連携できるようなものもない。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 島原市リーグキャンプ等誘致実行委員会が設立されているがさらに協力体制をとりながらやっていく。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 公の施設なので該当しない。	
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			A
			判定評価平均 A=3、B=2、C=1、D=0として換算 2.78

◎総合評価			
評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	キャンプ地として、毎年来ていただけるような環境整備を整えていく必要がある。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 施設の方でできる仕事は、できるだけ自分たちでしていく方向にもっていきたいが、専門的な知識や経験が必要になってくるので、先進地などで研修をするなど人材を育成することが必要となる。		
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。			

【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	毎年、多額の経費を要することを考えると、専門的な職員の雇用や育成も急ぎ考慮すべきと思われる。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減 500 (千円)
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	